



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月12日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)村上 全男 (TEL) 04(7094)5581
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,058	49.6	105	—	40	—	23	—
2019年3月期第3四半期	2,044	△35.7	△353	—	△467	—	△1,230	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	2.65	2.65
2019年3月期第3四半期	△137.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	6,815	123	1.7	△54.11
2019年3月期	7,152	94	1.2	△57.28

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 116百万円 2019年3月期 87百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,050	37.8	165	—	75	—	45	—	5.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	10,453,920株	2019年3月期	10,453,920株
2020年3月期3Q	1,514,075株	2019年3月期	1,514,075株
2020年3月期3Q	8,939,845株	2019年3月期3Q	8,939,845株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、輸出の減速や消費税増税の影響等あり、堅調さは残るものの景気の足踏み感は強まっております。また、米・中の非関税分野も含めた対立や低金利下での金融リスク等、先行きはより不透明な状況となっております。

リゾートホテル業界におきましては、海外・国内旅行とも堅調に推移し、訪日外国人客も増加しております。

そのような状況の中で当社は、主力施設である鴨川グランドホテルのリニューアルオープンもあり8月までは比較的堅調に推移しましたが、度重なる台風と豪雨の影響やその後の風評被害によりホテル・リゾート関連は大変厳しい状況となりました。また、ビジネスホテルも新規ホテルの乱立による競争激化により苦戦を強いられました。

その結果、当第3四半期累計期間の営業収益は3,058百万円と前年同四半期と比べ1,013百万円(49.6%)の増収となり、営業利益は105百万円(前年同四半期は353百万円の損失)、経常利益は40百万円(前年同四半期は467百万円の損失)となりました。

また、四半期純損益につきましては、23百万円(前年同四半期は1,230百万円の損失)の純利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ336百万円減少し、6,815百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ193百万円減少し、661百万円となりました。これは主に、未収入金が45百万円増加したものの、未収消費税等が231百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ142百万円減少し、6,153百万円となりました。これは主に、建物が169百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ224百万円減少し、4,160百万円となりました。これは主に、未払消費税等が115百万円増加したものの、短期借入金が355百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ140百万円減少し、2,531百万円となりました。これは主に、長期借入金が116百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ29百万円増加し、123百万円となりました。これは主に、四半期純利益23百万円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、前回(2019年11月12日)公表いたしました予想に変更はございません。なお、今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	272,703	255,944
売掛金	200,891	195,734
たな卸資産	44,122	64,324
未収入金	6,919	52,234
未収消費税等	231,624	—
その他	99,794	93,909
貸倒引当金	△163	△160
流動資産合計	855,891	661,986
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,973,709	10,981,626
減価償却累計額	△6,353,149	△6,530,353
建物(純額)	4,620,560	4,451,273
構築物	500,720	500,720
減価償却累計額	△460,437	△461,533
構築物(純額)	40,282	39,186
機械及び装置	236,841	218,528
減価償却累計額	△178,526	△162,951
機械及び装置(純額)	58,315	55,577
車両運搬具	9,379	9,079
減価償却累計額	△8,862	△8,625
車両運搬具(純額)	517	453
工具、器具及び備品	673,376	679,370
減価償却累計額	△582,850	△590,481
工具、器具及び備品(純額)	90,525	88,889
土地	1,067,778	1,067,778
リース資産	213,441	248,099
減価償却累計額	△112,853	△130,843
リース資産(純額)	100,588	117,256
建設仮勘定	1,053	1,053
有形固定資産合計	5,979,621	5,821,467
無形固定資産	29,445	34,858
投資その他の資産		
投資有価証券	79,199	86,739
差入保証金	169,603	169,603
保険積立金	18,234	22,739
その他	29,356	27,843
貸倒引当金	△9,346	△9,346
投資その他の資産合計	287,048	297,580
固定資産合計	6,296,115	6,153,906
資産合計	7,152,007	6,815,893

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,278	118,427
短期借入金	3,488,850	3,133,034
1年内返済予定の長期借入金	248,100	261,523
未払金	86,292	57,650
未払費用	274,943	268,747
未払法人税等	1,554	22,011
未払消費税等	—	115,374
賞与引当金	34,702	8,513
災害損失引当金	—	42,979
その他	152,562	132,240
流動負債合計	4,385,284	4,160,501
固定負債		
長期借入金	1,653,908	1,537,433
繰延税金負債	1,157	3,130
退職給付引当金	137,468	144,773
役員退職慰労引当金	39,031	34,971
長期預り保証金	445,594	439,494
その他	395,096	371,940
固定負債合計	2,672,255	2,531,742
負債合計	7,057,539	6,692,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△1,034,865	△1,011,141
自己株式	△5,320	△5,320
株主資本合計	85,163	108,887
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,740	7,408
評価・換算差額等合計	2,740	7,408
新株予約権	6,564	7,353
純資産合計	94,468	123,650
負債純資産合計	7,152,007	6,815,893

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業収益	2,044,347	3,058,197
営業費用	2,397,490	2,952,920
営業利益又は営業損失(△)	△353,142	105,276
営業外収益		
受取保険金	4,923	3,606
助成金収入	621	1,858
その他	11,355	12,974
営業外収益合計	16,899	18,438
営業外費用		
支払利息	64,572	82,829
休止固定資産減価償却費	66,038	—
その他	421	671
営業外費用合計	131,032	83,500
経常利益又は経常損失(△)	△467,275	40,214
特別利益		
受取保険金	—	52,714
投資有価証券売却益	7,169	—
特別利益合計	7,169	52,714
特別損失		
固定資産除却損	372,682	3,802
解体撤去費用	391,058	—
災害による損失	—	12,603
災害損失引当金繰入額	—	42,979
特別損失合計	763,740	59,385
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,223,847	33,543
法人税、住民税及び事業税	6,324	9,819
法人税等合計	6,324	9,819
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,230,171	23,724

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,484,059	474,636	1,958,696	85,651	2,044,347	—	2,044,347
セグメント利益又は損失(△)	△317,129	13,802	△303,326	△2,052	△305,379	△47,763	△353,142

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△47,763千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,523,339	453,825	2,977,164	81,033	3,058,197	—	3,058,197
セグメント利益又は損失(△)	139,349	25,068	164,417	△12,257	152,159	△46,882	105,276

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△46,882千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。